

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第9回会議の結果について

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第9回会議を開催し、調査結果が取りまとめられましたので、お知らせします。

1 日 時 令和4年7月2日（土）午後1時から午後3時55分まで

2 場 所 さなめホール（米子市淀江文化センター：米子市淀江町西原） イベントホール
（※）傍聴は、さなめホール大ホール、県民ふれあい会館講義室においてモニター傍聴

3 出席委員 しまだじゅん 嶋田 純 熊本大学名誉教授【会長】、すぎたふみ 杉田 文 千葉商科大学教授、いとうひろこ 伊藤浩子 一般財団法人地地域地盤環境研究所主任研究員、かつみたけし 勝見 武 京都大学大学院教授、こだまよしのり 小玉芳 敬 鳥取大学教授

4 結果（主な内容）

・「三輪山の清水」の追加調査及びシミュレーション解析の結果を検討の上、調査結果（最終）のまとめを行った。

- ① 計画地周辺には、鉛直方向に3つの帯水層と、それを隔てる難透水層が広く分布。
 - ② 3次元シミュレーションで解析された流線図では、計画地で涵養された地下水は、第1、第2第3帯水層のいずれも、「福井水源地」及び「三輪山の清水」に向かっていない。
 - ③ 計画地で涵養された地下水は、連続性の良い火山灰質固結粘土層によって第3帯水層（「福井水源地」で取水）への流入が遮水されているため、福井水源地への影響となるような懸念材料はない。
 - ④ 流線図では、「三輪山の清水」へ向かう地下水の流れがないこと、No.12（追加ボーリング井戸）の地下水位が高く計画地下流の地下水は、「三輪山の清水」へは到達しないことなどから、計画地の地下水が「三輪山の清水」に影響を及ぼす可能性は極めて低いと推察。
- ※ これらの結果は、ボーリング調査、水文調査、水質調査、地下水3次元シミュレーションの各結果・解析と整合し、信頼性は高い。

5 会長まとめ

- ・この地域の地下水の流れの情報はほぼ掴め、それに基づく解析等から、十分精度の高い地下水流動の再現性が確認されており、今回の結論は妥当と考える。（全委員：異議なし）
- ・精緻な調査に基づく、科学的に信頼性の高いデータ（結果）と言って良い。委員の合意が得られたので、調査会としての結論とする。

6 今後のスケジュール

- ・調査結果について、地元（関係自治会）への説明や県民向け報告会などで、事務局からお知らせしていく。

7 傍聴

- ・傍聴者は26名（西部会場：21名、東部会場：5名）。

第9回調査会で示された最終モデルによる流線図

